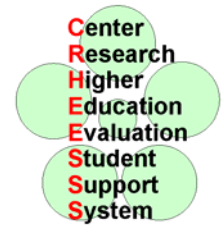


週刊センターニュース No.84



第84号(2005年11月7日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

共同学習会のご案内

第92回 日時 11月9日(水)16:20~17:50

場所 金沢大学角間キャンパス総合教育棟5階D10講義室(北棟)

通常と会場が違いますのでご注意ください。なお、今回も、双方向遠隔授業システムを用います。鶴間キャンパス保健学科5号館5104教室、および富山大学の2キャンパスの教室にも送信されます。

主催 金沢大学大学教育開発・支援センター

共催 金沢大学保健管理センター、金沢大学学生相談専門委員会、
富山大学保健管理センター、富山大学学務部

発表者 鈴木 健一(保健管理センター)

日向 繁(学生部学生支援課)

田上 芳美(保健管理センター)

青野 透(大学教育開発・支援センター)

テーマ 「変革期のメンタルヘルス支援」

概要 9月29日と30日の2日間にわたって三重県津市で開催された「平成17年度 東海・北陸地区メンタルヘルス研究協議会」(主催:国立大学法人保健管理施設協議会、独立行政法人日本学生支援機構、国立大学法人三重大学)の参加報告である。この協議会は、大学の構成員(学生及び教職員)のメンタルヘルスに関する研究成果の発表と参加者相互の研究協議を通じて、学生の人間形成に対する支援と援助のあり方について啓発と普及を図ることを目的とするものであり、今回は「変革期を迎えた大学運営とメンタルヘルス支援」と題して開催され、80名近くの参加者があった。笠原嘉氏(名古屋大学名誉教授、『精神病』(岩波新書)『青年期』(中公新書)等の著作で有名)による基調講演内容のほか、各分科会等での議論について報告する。学生相談を担当してられる教職員さらには、学生支援にご関心をお持ちの方々の積極的な参加を期待する。

第93回 日時 11月15日(火)16:20~17:50

場所 金沢大学角間キャンパス総合教育棟南棟2階大会議室

発表者 直江 賢治(学生部就職支援室)

青野 透(大学教育開発・支援センター)

テーマ 「学生中心の学生支援・就職支援に向けて」

概要 10月12日~14日の3日間にわたって福島市で開催された「平成17年度全国学生指導研究集会」(主催:独立行政法人日本学生支援機構、全国学生指導研究会連合会、国立大学法人福島大学)の参加報告である。この研究集会は、学生指導に関する研究成果の発表と参加者相互の研究討議を通じて、学生指導業務の改善と発展の方策について研究することを目的とするものであり、今回は207高等教育機関から300名以上の参加者があった。二つの講演のほか、各分科会(「就職支援のあり方」・「学生中心の大学という観点での就学指導」)等での議論について報告する。各部局で就職支援に携わってられる教職員の方々はもちろん、広く学生支援にご関心をお持ちの方々の積極的な参加を

期待する。

ポータルサイトと学生の情報保障

皆さんは、ポータルサイトをご存じだろうか。Yahoo など提供されているインターネット上のサービスで、ユーザーID とパスワードを入れると自分専用のページが開き、そこに自分のお気に入りリンク集であったり、カレンダーであったりが表示される仕組みのことで、IT 用語辞典 e-Words(<http://e-words.jp/>)には以下のように記されている。

ポータルサイト 【portal site】

読み方：ポータルサイト

別名：Web ポータル, web portal, ウェブポータル

インターネットの入り口となる巨大な Web サイト。検索エンジンやリンク集を核として、ニュースや株価などの情報提供サービス、ブラウザから利用できる Web メールサービス、電子掲示板、チャットなど、ユーザがインターネットで必要とする機能をすべて無料で提供して利用者数を増やし、広告や電子商取引仲介サービスなどで収入を得るサイトのことをいう。(以下略)

現代社会におけるインターネットの位置づけを考えればポータルサイトは、上にもあるように、個人専用の「情報提供サービス」であり、かつ、ユーザー認証により的確にその本人が情報を得られる仕組みであるといえる。以下、その仕組みが大学における学生の情報保障にとってどのように使えるものかについて、簡単に述べたい。

大学として学生に知らせておきたい情報、学生として知りたい情報は、大学又は部局からの案内、学生の呼び出し、学務関連情報、学習関連情報、学籍簿登録情報、福利厚生関連情報、留学関連情報、就職関連情報、学費・奨学金関連情報、図書館関連情報など非常に多岐に渡る。従来は、これらの情報を入手するためには、学生は、それぞれ担当の窓口へ行くか、自分で学内掲示板を見る必要があり、非常に煩わしいものであった。また、学部が異なったり、キャンパスが異なったりすると、さらに情報へのアクセスには手間がかかった。それらの問題点を解決する手段として、そこにアクセスすれば、全ての必要な情報への入り口が用意されているワンストップサービス環境としてのポータルサイトが大学でも導入されるようになってきた。明治大学の「Oh-o! Meiji」(<http://oh-o.meiji.ac.jp/index.htm>)、早稲田大学の「Waseda-net ポータル」(<https://www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php>)などを始め、現在多くの大学で導入が進んでいる。また、アメリカの大学では、日本より早くから多くの大学で導入されている。

こういう環境が整備されていれば、各種情報が混乱無く学生に伝わり、学生の大学生活に対する満足度もより高まるものと思われる。さらに、大学ポータルサイトには、Web 上での掲示板、各種アンケート(授業評価、学生生活実態調査など)を活用し、学生からの声を聞くことが出来るという大学側にとっての利点もある。また、大学事務サイドとしても掲示、通知、連絡などが重複が無くなり、無駄なく効率的に学生個人に的確に情報が伝えられ、より質の高い学生サービスを行うことが出来る。もちろん、各種個人情報絡むことであり、学内の複数部局の情報が集まるため、セキュリティには十二分に注意することは当然であるが、個人的には、セキュリティに配慮するコストよりも学生、教職員が受ける恩恵の方がはるかに大きいと考える。来年度からのノート PC 必携化との絡みでも、ノート PC を持たせる意味を学生に納得してもらおうための大きな切り札となりうるため、金沢大学でも出来るだけ早い時期の導入を検討すべきではないだろうか。

また、認証システムをもたない情報掲示板的なポータルサイトも数多く存在する。例えば、京大生のためのコミュニティサイト(<http://www.kyoto-u.com/>)、大阪市立大学の「市大ナビ」(<http://www.ichidainavi.net/>)、東大生向け Akamon.net(アカモンネット)(<http://www.akamon.net/>)など、「ポータルサイト、大学」で検索していただくと非常に多くの大学のポータルサイトが出てくる。これらは、どこまで大学が公式に關与しているかは不明であるが、金沢大学も学生向け情報発信として、とりあえずこのレベルからでも初めてみてはどうだろうか。

(文責 教育支援システム研究部門 堀井)